

伊那市地域おこし協力隊 活動紹介
平成 26 年度上半期 (平成 26 年 4 ~ 9 月)

ミッション名	里山アテンダント	氏名	小淵 幸輝
---------------	----------	-----------	-------

区分	活動内容
業務の概要	<p>山岳及び里山の活用に関する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山から亜高山帯にかけての自然や人文資源等の発掘とそれらを活用したツアーガイドの育成と組織作りに取り組み、SNSや長谷ビジターセンターを活用した情報発信を行う。また、移住者のためのフォーラムを開催し地域及び移住者の相互理解を深め地域活性に寄与する。
これまでの活動内容	<p>・資源の発掘及びガイド育成について、これまでに長谷地域内の自然環境や集落状況等について踏査を行った。踏査は、里山及び溪流等のツアー開催の可能性を探る目的及び自然情報収集を目的として行った。(写真①)</p> <p>上半期の踏査データ等については、現在とりまとめ中であるが、美和湖周辺の遊歩道を始め、周辺山地等登山道、三峰川源流及び黒川、栗沢等支流の溪流について踏査を行った。</p> <p>ガイド育成に関しては、既存の活動団体へのヒアリングを行い、現在、ジオガイドの会と試行的なガイド育成について実施の調整を行っている。</p> <p>・情報発信については、自身の活動をSNSを通じて発信するとともに、長谷ビジターセンターにおいて展示等による発信を行っている。(写真②)</p> <p>・移住者フォーラムについては、長谷地域の移住者について情報収集を行った。</p> <div style="text-align: right;">▼写真①</div>  <div style="text-align: right;">▼写真②</div> 
今後の活動予定	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き秋季及び冬季の踏査を行うとともに、長谷ビジターセンターを活動の場としてガイド育成の試行を11月頃から行う予定。情報発信に関しては、SNSによるガイドネットワークの形成及びブログによる情報発信の仕組みを検討する。また、移住者フォーラムについては、移住者へのヒアリングを適宜行う予定である。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイド育成については、拠点となる施設が必要となる。現在、活動の場として連携している長谷ビジターセンターとより密な関係を構築することが重要である。また、長谷ビジターセンターには、施設機能として、ガイドの待機場所や室内でのプログラム実施可能な場所が無い等の問題がある。また、既存活動団体との関係について、現状は特に問題が無いが、今後も引き続き既存団体の意向等を尊重しつつもガイド育成に関してのイニシアティブをとれるよう、十分な配慮を継続して行うことが重要と認識している。

